

## 直結式吸収缶

吸収缶の種類	試験ガス	試験濃度	破過時間(分)		適応ガス
		(%)	平均実測値	社内基準	
アンモニア用	アンモニア	0.1	100	70(40)以上	アンモニア

国家検定合格品 ( )内は国家検定またはJIS規格値

国家検定第N114号合格品

防毒マスクの選択と使用にあたって

## 面体の選択

- ・顔面によく密着する面体を選びます。
- ・環境空気中の物質が眼を刺激する作業環境では、全面形面体を選びます。
- ・国家検定合格標章の付いた面体を使用します。

## 使用上の注意

- ・面体のひび割れ、部品の接合部の隙間などがないこと。
- ・フィットネス(密着の度合)を悪化させるようなマスクの変形、硬化、軟化などがないこと。
- ・排気弁が正常に作動すること。
- ・しめひもは、十分な弾性を持っていること。
- ・全面形面体のアイピースは、視野を阻害するような傷、汚れ、歪み(ひずみ)がないこと。
- ・使用後は吸収缶をはずして、手入れをして清潔に保ってください。
- ・手入れ後はなるべく冷暗所に保管してください。積み重ねたり、折り曲げたりして保管しないで下さい。

着用にあたって以下の場合には使用することができません。

- ・面体と顔面の接顔部に入り込むようなひげ、もみあげ、前髪などがある場合。
- ・排気弁の作動を妨害する口ひげ又は、あごひげがある場合。
- ・呼吸器系及び循環器系に疾患がある場合、その他産業医が不適当と認めた場合。
- ・作業環境中のガス濃度により[直結式小型]、[直結式]、[隔離式]の3種類に分けられます。但し、実際の使用に関しては、著しく危険度の高いガスが高濃度で存在する場合は危険性が高くなるため、曝露限界濃度を基準とした濃度の範囲で使用する必要があります。

## 吸収缶の選択

- ・環境空気中に存在する有毒ガス等の種類に応じて選択しなければなりません。
- ・環境空気中に存在する有毒ガス等の濃度により、高濃度には隔離式、中濃度には直結式、低濃度には直結式小型吸収缶を選択します。
- ・吸収缶は使用環境の温度、湿度が、常温、常湿の状態から大きく外れたときは、除毒能力が著しく減退しますので注意してください。

## 使用中、使用後の交換基準

- ・使用中に臭気または刺激を感じたとき。  
(ただし、臭気・刺激の少ないガスにはこの方法は使えません。)
- ・予測した有効時間を経過した時。
- ・吸収缶に添付されている破過曲線図をもとに、使用時間を記入し、破過時間に達した時。
- ・吸気抵抗が増大し、息苦しくなった時。
- ・青酸用、一酸化炭素用、一酸化炭素・有機ガス用(フィルタ付)の吸収缶は一回使用で交換する。

## 吸収缶の有効保存期間と保管方法

- ・上下栓が確実にはめられている場合。
- ・缶対にさびや変形がなく、通常(常温・常湿・振動がない)状態で保管されている場合は、能力の低下はありません。
- ・直結式小型吸収缶の場合。  
気密性の良い袋(臭気の強いものは避ける)に、外気の出入を遮断して入れた状態で、通常(常温・常湿・振動がない)状態で保管されている場合は、能力の低下はありません。  
いずれの場合も、乾燥した冷暗所に保管し、製造後2年以内に使用してください。